



ふるさとの伝統文化継承の中核となる学校 ～ふるさとに学び、ふるさとを愛し、 ふるさとに誇りをもって生きる子の育成～

本校の特色となる主な学習は3つです。わた伝来の地としての伝統を全校でつなぐ「わた学習」、生きる力を育む「食育」、地域の災害について学ぶ「防災学習」です。これらの学習を生かし、子どもたちが、地域の「ひと・もの・こと」とかかわり、地域の方と共に地域（ふるさと）について学びます。地域の方たちのふるさとへの愛着の気持ちを改めて掘り起こす役割を担うことで、ふるさとの伝承文化の継承の中核となる学校であり続けることをめざします。



わた学習

- ・棉の栽培、綿繰り、糸つむぎ、機織りなど、地域の伝統文化継承の体験
- ・「わた集会」
- ・異学年への継承体験
- ・「わた保存会」の支部局としての活動



食育

- ・野菜、大豆、米の栽培など、地域の産業に触れる体験
- ・調理・試食体験
- ・栄養教諭による食育授業



地域の文化継承

防災学習

- ・三河地震、避難グッズ、地域の防災の学習
- ・災害の疑似体験活動
- ・「学習発表会」での発信



活 動 内 容

ふるさとを学ぶために

- 地域の方たちとのかかわりや体験を多く取り入れたり、天竺神社や三河木綿、三河地震、大豆、米などについて調べたりして地域を学びます。



ふるさとの愛を育むために

- 棉の栽培、綿繰り、糸つむぎ、機織りの体験の中で、地域の方の指導を受けながら、校内や保育園への分かの継承を体験することで、地域への愛を育みます。
- コットンボール銀行の活動を活性化することで、地域への綿の栽培を広め、ふるさとへの愛を掘り起こします。
- 地域の防災について学ぶことで、地域の方たちの「みんなの命を守る」活動を知り、自分たちにできることを考えます。
- 地域の方たちから野菜、大豆、米の育て方や調理の仕方を教えてもらう活動を通して、地域の豊かさを理解します。



ふるさとを誇りに思う心を育むために

- 学習発表会やわた集会、授業参観等で、地域や家庭に学びを発信したり、交流したりすることで、地域の方と一年の学びを共有し、ふるさとを誇りに思う心を育みます。

